



# しばた議会だより



みんなできれいに

(東船岡小学校クリーン作戦)

■9月定例会・19年度決算を認定	2
・9月補正予算を可決	8
・一般質問	12
■「追跡」あれはどうなった	11
■常任委員会レポート	19
■あなたの一言	20

# 19年度 決算総額 217 億円を

**認定**

## 平成 19 年度 決算額

会計区分		歳入	歳出
一般会計		101 億 1,486 万円	100 億 2,826 万円
特別会計	国民健康保険	36 億 830 万円	34 億 7,665 万円
	老人保健	29 億 8,255 万円	29 億 3,263 万円
	公共下水道事業	20 億 2,378 万円	20 億 646 万円
	介護保険	16 億 4,472 万円	15 億 9,341 万円
水道事業会計	収益的収入支出	12 億 3,448 万円	12 億 7,076 万円
	資本的収入支出	9,570 万円	3 億 7,167 万円
合 計		217 億 439 万円	216 億 7,984 万円

20年9月定例会は、9月5日から19日までの15日間の会期で開かれ19年度の一般会計及び各種特別会計の歳入歳出決算の認定が提案され、総括質疑を行ったあと決算審査特別委員会を設置して審議しました。

決算審査の認定では2人の討論があり、すべて認定しました。

今議会では財政の健全性を判断する4指標（健全化判断比率）について本町の算定結果が報告され、各指標とも判断基準を満たしていることが明らかになりました。（解説：下欄参照）

### 討 論

反対討論

広 沢 真 議 員

19年度は、財政再建プランに取り組み、再建の見通しも見えていることで大きく評価する。

しかし、負担増によって苦しんだ町民もいる。できる限り負担増をおさえて、財政再建に取り組むべきである。

賛成討論

我 妻 弘 國 議 員

財政再建プランの実行は、町民に行政サービス低下と負担増を招いた。しかし、経費削減や地方交付税、法人町民税の大幅増収で、9億円の積立てができ、財政破綻の心配がなくなり、さらに財政規律も確立できた。

## 19 年度 柴田町財政健全化判断比率の 4 つの指標

区 分	柴田町 (%)	早期健全化基準 (%)	判断基準
実質赤字比率 (標準財政規模に対する「一般会計」に占める赤字額の割合)	—	13.85	基準内
連結実質赤字比率 (標準財政規模に対する全会計(上下水道会計等含)の赤字額の割合)	—	18.85	基準内
実質公債費比率 (標準財政規模に対する「一般会計」の借金返済額の割合(3か年平均))	17.5	25	基準内
将来負担比率 (標準財政規模に対する「一般会計」が将来負担する負債の割合)	94.5	350	基準内

※標準財政規模とは、町の標準的な状態で見込まれる使途が特定されず、どのような経費にも使用できる収入

### 財政健全化 判断比率とは

夕張市のような財政破綻を未然に防ぐため、地方自治体は「自治体財政健全化法」にもとづき、19年度決算から財政の健全度を判断する財政情報（4指標）の開示が義務づけられました。

同法によって、基準を上まわる自治体は、健全化計画の策定を義務付ける「早期健全化団体」となり、さらに悪化すると「財政再生団体」とされ国の管理下に置かれることとなります。



決算審査特別委員会での審議

# 財政再建は 進んでるか。

19年度の決算について、4人の議員が総括質疑を行いました。税金の滞納対策、財政再建プランの実施状況や今後の見通し、大雨時の排水対策、入札制度の適正化など、決算から見えてくる町の問題点を問いました。

## 総括質疑



太田 研光 議員

### 問 町税の滞納一掃を図れ

- (1) 厳しい財政運営が強いられている中、未納額が一般会計で3億4千500万円、特別会計で4億4千200万円と多額である。徴収体制等の改善を。
- (2) 8月下旬の集中豪雨で、船岡、槻木、西住等で家屋に浸水があった。夜間豪雨時の排水機場の運用とポンプ能力の改善が必要でないか。
- (3) 町はごみ処理のため、19年度4億4千万円と多額の支出をしている。昨年度は、ごみ減量作戦で排出量年間260トンの成果を上げた。一層の減量が必要でないか。

### 答 実態を調査し、縮減に努める

- (1) 滞納者の実態調査や財産の調査、納税相談の強化や分納誓約などの定期的な納付の推進、滞納者への処分を行い滞納の縮減に努める。
- (2) 西住、船岡西、槻木上町等の一部が冠水被害を受けた。豪雨対策のため、気象を予測して各排水機場の運転体制や既設のポンプ能力の改善・検討が必要と考える。
- (3) ごみ減量化実現のため、生ごみの水切り・分別・マイバック運動の町民運動の3本柱を引き続き実践する。

## 総括質疑



広沢 真 議員

### 問 財政は好転したのか

- 19年度の決算を受けて、削減されてきた人件費や町民サービスを元に戻す話が進んでいる。1年で財政再建の道筋が見え、自立のまちづくりの展望が見いだされたことは評価するが、
- (1) 財政指標による分析はどうか。
- (2) 財政再建プランが出された時に、期間を長くとって町民の負担増を抑えて行財政改革を進めるべきと提案した。1年で改革できるものならば期間を長くとって負担増を抑える改革も可能だったのではないか。

### 答 道筋は見えたが、現状はまだ

- 19年度は予想以上に町の税収が伸び、また、地方交付税が思っていたよりも多く交付されたため、財政再建プランの効果が予想以上にあらわれ、いざという時のための財政調整基金を積み立てることができた。
- 払いが占める比率（実質公債費比率）をみると苦しい現状は変わっていない。
- (2) 財政再建プランは、痛みを伴うショック療法的な思い切った改革に踏み切ったことで、前進したと考えている。

総括質疑



水戸義裕 議員

問 当面の財政危機は遠のいたのか

- (1) 19年度は財政再建プランのスタートでした。自立に向けた年とし、町長は47項目の財政再建プランを着実に実行すると、22年度までさらに効果が期待できるとしている。歳入増で9億円の貯金ができたと。そこで、財政調整基金の適正額とはいくらか。
- (2) 新法の財政健全化法についてはどう思うか。
- (3) 工場誘致で将来の税収確保も期待でき、19年度決算からも当面の財政危機は遠のいたと考えられる。中・長期的にみても、合併しなくてもいいのではないか。

答 財政規律を守り、健全化を図る

- (1) 標準財政規模の5割が適正で、最低5億円が必要。年度末残高10億円を目指し財政運営をした。
- (2) 財政健全化法は、自治体の財政を判断する4つの指標を公表し、基準を超したなら健全化等の計画を義務付けるもの。自主的な財政運営を奪い
- (3) 前回の合併破綻後、自立と財政の健全化に向けて努力し、貯金もできた。26年度から借金返済が半減するので将来負担も少ない。当面自立戦略を進化させていきたい。



実行委員会主導によるみやぎ大菊花展柴田大会

問 補助団体の決算等の議会提出を

- (1) 補助団体の決算書類と新年度の事業計画案は議会に提出すべきでは。
- (2) 債務を適切に管理し財政を有効に機能させるには、四半期ごとの財政シミュレーションを定例会に提出すべきでは。
- (3) 予定価格と契約価格を公表すべきでは。
- (4) 工事、委託などの契約についても、厳密な設計価格の決定に努めるべきでは。
- (5) 指名委員会では、入札基本条例の検討をすべきではないか。

答 要望があれば提出可能

- (1) 議会から要望があれば提出は可能である。
- (2) 国の地方財政計画が単年度で中・長期的でないため、地方交付税等の推計が困難である。
- (3) 予定価格を公表すると、応札者が積算をせず、落札率が高止まりになるため、国交省の指導で今年度から公表していない。
- (4) 価格の設定は適正に努めているが、特殊な工事や委託については、複数業者から参考見積もりを徴収し精査している。
- (5) 入札に関する具体的な落札基準を設定し、公平・透明性を図るためには条例制定も有効な手段と考える。先進事例を参考に調査研究に取り組む。

総括質疑



我妻弘国 議員

# 税金

の使い方を**審査**しました

決算審査特別委員会

## 中核病院の救急医療運営費は

**質疑** みやぎ県南中核病院運営負担金のうち救急医療分の割合はいくらか。またどのような内容か。

**答弁** 救急医療分は、医師3人、看護師10人、技師4人の賃金。ベッド10

床分と救急医療用の機器償還分を費用として計上。本町分は約1億2千万円となる。19年度の救急搬送患者は3千74人で、本町の町民は790人が搬送されて手当を受けている。



24時間救急体制にあるみやぎ県南中核病院

## 収納事務の一元化を図れ

**質疑** 町税、住宅使用料、給食費、水道料金など滞納金の徴収を各課でバラバラに行っているが、一元化して分納などの徴収相談をしてはどうか。

**答弁** 収納対策本部をつくっている議論してきたが、税金と料金は担当課が違い、法律も違う。具体的はどうしたらいいのか検討中である。

## 入札制度の現状と今後の取り組みは

**質疑** 入札方式の違いによって落札率が大幅に違う。一般競争入札で67・5割、指名競争入札で83・4割となっているが、この要因は何か。入札執行にあたって地元貢献度を加味するべきとの指摘があるがどう考えるか。

**答弁** 総務省から1千万円以上の工事は一般競争入札にかけるよう指導されているが、本町ではさ

## 下水道事業見直しで繰出金縮小を

**質疑** 当初予算100億円のうち、補助費等の割合が16・6割、特別会計繰出金が13・8割と全体に占める割合が高い。投資的経費は5.3割しかない。これが今の本町の大きな問題なのではないか。公共下水道事業の見直しで、繰出金縮小ができる。

**答弁** 補助金等は、仙南地域広域行政事務組合と中核病院の負担金で16億

まざまな条件を考慮し、2千500万円以上としている。指名競争入札は1千万円以下の少額案件が多い。国土交通省では価格競争の分を8割とし、地元への貢献度分として2割加味するよう指導している。本年度に試行的に1件実施する予定。

公共下水道、国保、介護保険への繰出金も同様に伸びる傾向にある。公共下水道は6億円台で推移するようになり、非常に財政を圧迫する。効率的な事業を進めていく。



新栄地区の下水道工事

## 公園の危険遊具点検は

**質疑** 危険遊具撤去を9件行っているが、安全性のチェックはどのようにしているのか。専門家ではないと難しいのではないか。また、公園の砂場の砂が不衛生である問題になったことがあるが、砂の入れ替えはどのようにしているか。

**答弁** 年1回専門業者に点検を委託している。老朽化が著しいものについては使用禁止にして、予算措置をした上で撤去している。

また、公園愛護協会が日常点検して、問題があるものは報告がくることになっている。それを受けて使用禁止、あるいは手直しをする。

砂の入れ替えについては要請に応じて随時対応している。

## 幼稚園就園奨励費補助金の対象を全員に

**質疑** 私立幼稚園園児の保護者は、補助金がゼロの人もいる。しかし、所得がボーダーライン上の人も多いので、所得にかかわらず園児全員に補助をしてはどうか。

**答弁** 保育所への入所希望は増えているが、幼稚園の希望は全国的に減っている。そういう中で、幼児教育と幼児保育のあり方全体について早急に検討しなければならぬ。私立幼稚園は国が定めた教育のほかに特徴を出そうと音楽や体育に力を入れているところもあり、そのため保育料にも開きが出ている。また、国からの地方交付税は1人当たり幾らかかるかで算定されており、国の基準も所得制限に基づいている。

## 町長・議長交際費の使い道は妥当か

**質疑** 町長交際費の内容については町ホームページで公開しているが、各団体の総会や各地区の行事に町長や議長がご祝儀を持参する慣習を見直しはどうか。

**答弁** 19年度はおよそ200件、86万円を支出した。1件だけ辞退された敬老会もあり、理解が得られるのであれば今後調整していく。

## 開票作業時間の短縮を

**質疑** 昨年の参議院選挙の開票時間は30分短縮されたが、どのような対応をしたのか。

**答弁** 投票用紙の仕分け

などを工夫し、職員がスムーズに動けるような対策をしたこと、職員の高い意識が時間短縮の要因となった。

## むつみ学園の排水対策は

**質疑** むつみ学園の老朽化が進み、以前から建て替えの話がでている。また、8月31日の雨で水害も出た。どのような原因で、どのような対策をとったか。今後の方針は。

**答弁** 構成している1市5町では現状を理解しているものの、財政面の負担については難しいというのが今までの経過。町

で所有している施設を利用して、移設も含め検討していく。

水害の原因は、敷地が奥に行くほど傾斜しているうえ、周囲が宅地・工場と隣接しているため、排水が機能していないことである。国有地なので国と協議して内水対策を考える。



元気で遊ぶ子どもたち（富沢農村公園）



水害の跡が残るむつみ学園脇の排水路

## 女性史編さんについて

**質疑** 柴田女性史を編さん中とあるが、どのようなものか。

**答弁** 平成8年に柴田女性史編さん委員会が組織され、本町の女性がどのような生活を送ってきたか216人を対象に聞き取り

調査をした。

編てつ作業が滞っていたが「輝くしばた男女共同ネットワーク」の方から協力をいただけたこと、作業を進めている。学徒動員された方等の体験もある。

## 消防団の状況は

**質疑** 消防団員数が減っている。本町は水害が多いので、それに見合った定数を再検討する時期ではないか。また、大学生の消防団員も考えてはどうか。

**答弁** 現在20歳未満1人、

20代17人、30代58人、40代77人、50代113人、60代以上45人の構成になっている。団員の確保は年々難しくなっている。定数は350人だが適正な数かどうか他市町を参考に検討していく。



町民体育館での出初式

## 放置自転車を再利用できないか

**質疑** 町内に放置されていた自転車は、何台あったらどう処理しているか。

**答弁** 一斉回収で32台、駅前車場で274台を撤去した。町で3カ月間保管した後仙南リサイクルセンターに運んで処分する。



乗り捨てられた放置自転車

中には新しいものもあり、再利用も可能な自転車もある。現在、町には処分にかかる条例がないので、年度内に条例を制定し、業者に払い下げできるようにしていく。

## 行政区長制度をどうする

**質疑** 行政区長の規則の見直し作業の進具合は。

**答弁** 規則では、文書、広報紙の配布など7項目の業務が定められているが、そのほか地域や自治会のリーダーとしての役割

割をあわせて担っている。

今後、行政が地域をどのような形で支援しているのか、新たな仕組みの構築も含めて「地域自治活性化調査検討会議」で議論している。

## 老朽化した学校プールの利用を仙南総合プールの利用を

**質疑** 老朽化が進み保守管理費がかさむ学校のプール。プールサイド、電気設備等も老朽化で維持経費がかかっている。

昨年提案した時、検討するとの答弁だったが、その後どうなったか。中学生だけでも総合プールを利用してはどうか。

**答弁** 角田市では移動に民間のバスを使って子ども

もたちが市民プールを利用している。

本町でも総合プールを利用できないかと、指定管理者と話し合いをしている。まだはつきりとした回答は得ていないが、総合プールを利用できる可能性は十分ある。今後、保護者も含めて協議を進めていく。



幅広い利用が期待される仙南総合プール

# 9月補正予算 一般会計 1億39万円増額を可決

各種会計も原案どおり可決

## 補 正 予 算 額

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	1億39万円	99億2,097万円
特別会計	国民健康保険事業	1億863万円
	老人保健	594万円
	公共下水道事業	1,268万円
	介護保険	5,082万円
	後期高齢者医療	5万円
水道事業会計	収益的収入	—
	収益的支出	923万円
	資本的収入	—
	資本的支出	3万円

今回は、制度の改正や緊急事案の対応に必要な経費などの補正です。  
歳入は、地方特例交付金、地方交付税、国県支出金、繰越金などの確定による増額の補正です。  
歳出は、道路維持費や町営住宅管理費、国保の後期高齢者医療支援金、保険給付費など、事業費、人件費の一部を補正するものです。  
一般会計及び各種特別会計等の総括表は、左表のとおりです。主な質疑を掲載します。

## 審 議

**質疑** 公害対策事業費のアスベスト調査委託とは、どのような内容で、何カ所実施するのか。

**答弁** 東京都の自主検査で、国内初となるアクチノライト、アンソファイライト、トレモライトの3種類のアスベスト使用が確認された。石綿障害予防規則が改正されたため、全市町村が調査をすることとなり、本町も12施設16カ所の調査を行う。

**質疑** しらさぎ共同作業所の分で、県の補助金が1千万円の減額とあるが、不足分はどうするのか。

**答弁** 当初予算で2千万円を計上したが、その後、県から上限の1千万円が交付額と示された。不足の1千万円は、一般会計から補てんする。

**質疑** 後期高齢者支援金として2千285万円が増額補正されているが、これは、後期高齢者医療に移る人が当初見込みより多いということか。今後の

国保への影響はどうか。

**答弁** 後期高齢者支援金は、被保険者数に1人当たりの医療費を掛けて算出するが、全国的にまとめるところ、当初国でみていた単価より高くなったために増額補正した。

国の予測よりも被保険者の負担が多くなっていることで、当然、国保会計への影響が出てくる。今後も医療に対する交付金はどうなるか、危機感を持って注視し、国保の財政運営をしていく。

**質疑** まちづくり交付金

事業に関する町債を750万円削減したのはなぜか。

**答弁** 七作地区の道路整備に、今年度分の国庫補助が増額されたため。

**質疑** 中学校管理費の中で、船岡中学校ネットワークフェンス改修工事とあるが、どの程度の工事なのか。

**答弁** 船岡中学校グラウンドの南側、それから西側のフェンスの改修工事、長さは420m、高さは1.8mである。バックネット周辺は、高さ3.5mに改修工事をする予定。



まもなく改修される船岡中学校ネットフェンス



# しらさぎ共同作業所を建て替え 運営を民間に委託

しらさぎ共同作業所は、精神障害者の小規模作業所として運営されてきましたが、県の補助を受け、建て替えられます。

障害者自立支援法に基づく制度変更で「柴田町地域活動支援センター」になります。そして、補助を受ける条件として管理運営を民間に移す必要があるため、応募の中から角田市で「虹の園」を経営する、社会福祉法人「臥牛三敬会」が指定されました。

**質疑** 指定管理者を公募したというが、町社会福祉協議会は参加しなかったのか。

**答弁** 町社協の考え方として、ニーズが拡大する社会福祉施策、少子化や高齢化への福祉対応を担って行く方向と人的整備等、総合的な判断から応募をしなかった。

**質疑** しらさぎ共同作業所の登録者数は何人か。契約する金額はいくらか。管理者となる社会福祉

法人臥牛三敬会の実績は、**答弁** 登録者数は26人で、日平均利用者は18人。年間600万円を上限の条件で応募されたもの。

実績は、知的・身体障害者、精神障害者の通所授産施設や多機能型施設として就労移行支援事業などを展開している。**質疑** 作業所の指導体制は、今後どうなるのか。

**答弁** 入所者の不安解消のため、現在の1人の指導員と臨時職員2人に引き続き指導体制を継続するよう協議する。法人側でも、専門的な職員を配置します。**質疑** 福祉には、高い安いの問題ではなく、町の計画がその法人によつてどう進められるのか。大事な問題だが、大丈夫か。

まもなく完成



まもなく完成

**答弁** しらさぎ共同作業所は、21年1月から、障害者自立支援法に基づくサービスを受ける施設になる。そのためには民間の運営が必要条件。この臥牛三敬会は多彩な活動メニューがあることや通所者にとって、障害者の自立支援のための就労支援にも期待できると考えている。

## 臨時議会の傍聴に 100人を超える傍聴者



### 合併協議会設置を決定

8月6日に臨時議会を開催。法定合併協議会の設置が提案され、賛成多数で原案どおり可決しました。

として有効な手段「少子高齢化、景気低迷による財源不足、住民の安全安心のまちづくりにとって合併が必要」。

町長が「前回の3町合併破綻以降、都市と地方の格差、医療介護、中心商店街の活性化など問題が深刻化したが、解決に合併の有効性が示されていない。」「柴田町は自立戦略で行政区域を大きくしないことが得策」など述べたうえで、設置提案を行いました。

**反対議員**からは「平成の大合併の十分な検証がされず、数的なデータも示されない」「すでに合併した自治体では予想を超えた市民サービスの切り捨てや医療・福祉・教育の重大な後退が起きている」などが出され、賛成7人、反対7人の議員が討論で意見を述べました。

**賛成議員**からは「合併は行財政改革の方法

人事案件

教育委員会委員の選任に同意（再任）

我妻 一雄氏  
（槻木東二丁目）

牛澤 典子氏  
（西船迫一丁目）

牛澤 典子氏  
（西船迫一丁目）

牛澤 典子氏  
（西船迫一丁目）



意見書

次の4つの意見書を本議会で審議し、原案どおり可決しました。なお、内閣総理大臣、両院議長など関係方面に提出しました。

- 国産農畜産物増産・自給率向上に関する意見書
- 生活用品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書
- 社会保障関係費の二千二百億円削減方針の撤回を求める意見書
- 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

請願

- 「国産農畜産物増産・自給率向上に関する意見書」の提出を求める請願

柴田町・村田町・大河原町  
合併協議会の委員の選任

選挙による投票の結果、次の2人が選任されました。

佐藤 輝雄 議員  
杉本 五郎 議員

財政再建プランの進捗状況

平成19年度に策定された財政再建プランの取り組み、進捗状況を要約します。

(1) 人件費の抑制	特別職及び職員の給与等のカットを実施したが、行政区長の報酬の見直しは検討中である。
(2) 事務事業の整理合理化	窓口業務の合理化対策として、戸籍の電算化システムが稼働した。幼児保育型児童館の廃止と幼稚園化は引き続き検討中である。
(3) 負担金・補助金 の見直し	防犯灯の新設・改良に対し、7万円を上限とする行政区への補助を実施した。各種の補助金をゼロベースから見直した。
(4) 繰出金の抑制	下水道特別会計への繰出金を削減した。今後適正な料金改定を検討する。
(5) 税収の確保	町民税の収納率向上対策として、休日、夜間徴収や滞納処分の強化を図っている。
(6) 使用料、手数料 の見直し	児童館などの使用料の見直しや、町営住宅の駐車場使用料を創設した。ごみ処理の有料化については、引き続き検討中である。
(7) その他の財源対策	土地などの遊休資産を売却した。集会所の地区への払い下げ、集会所建設の補助金化は検討中である。

# 追跡 あれはどうなった？

## 新消防班が活躍

今回は、12 B行政区で新設された消防班の活動と、長年にわたり槻木地区の大規模湛水防除対策事業として取り組んでいる新四日市場排水機場の現状をお知らせします。

### 現在までの経過

18年2月、第12 B行政区代表者から、地域内での防災に対処するため、消防班の創設を議会に請願されました。議会としても、行政区の実状を調査し、関係者等の意見を聴取した結果、新たに消防班の新設が妥当であるとの結論に達し、議会で採決されました。



19年4月、第12 B行政区には、新たに7名の消防班が創設され、消防活動が開始されました。地区内では、消防班の活動も定着し、住民から深い信頼も寄せられています。今年8月末の集中豪雨では、下名生地区でも冠水地区があり、その排水作業に兜森班長以下7名の班員が活躍しています。

## 新四日市場排水機場稼働

### 2、新たな排水計画

本地域の新たな洪水対策は、県営湛水防除事業として平成7年度に総事業費60億円を着工されたものです。

新設の排水機場には、4機の排水ポンプを設置し、1秒間に約20トンを阿武隈川に強制排水するよう計画されています。

しかし、近年槻木駅周辺の宅地造成や工場等の流域開発が著しく、流出量も増大してきています。

### 現在までの経過

#### 1、これまでの洪水対策

槻木地区は、昔から五間堀川を中心とした洪水対策が考えられてきました。近年、地区内の流域開発によって流量も増大し、昭和43年当時、冠水の排除のため、四日市場の排水機場に排水ポンプ3台を設置し、最大排水能力毎秒約6.5トンを計画し、対応してきました。

今年8月末の集中豪雨時には、新たな排水ポンプが稼働して、早期に周辺の稲の冠水や家屋の浸水を防ぐことができました。今年中に排水ポンプ2基の据えつけを予定しており、排水量は約3倍となり、旧排水場はその後廃止の予定です。



# 一般質問

ズバリ



あなたにかわって

## ここが聞きたい

Q & A



一般質問は9月8日から10日までの3日間で行われ、11人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。一問一答がわかりやすいように、**問**と**答**が交互になるよう掲載します。答弁者は、滝口町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



我妻弘国 議員

**Q** マニフェストの反響は

**A** 政策判断ができると大反響



仙台大学内で養成講座を受ける健康づくり運動サポーター

**問** 町長再選後1年経過した時点で、マニフェストの4割を着手したとして60点としたが、今はどうか。  
**答** 自己採点をするので65点程度と思っている。  
**問** 町の選挙の歴史に新しいページを作ったと思うが、マニフェストを読んだ一般の方の反響は。  
**答** 政策が判断できることで大変な反響を呼んだと受けとめている。  
**問** 2市7町の合併を考えているか。

**答** 道州制が導入されると20万人都市が基点という報告も出ている。これからの病院問題、介護保険問題、消防関係を見れば、2市7町を一つの都市圏として考えたい。  
**問** 2年以内にごみ2割を減量するとのあるが。  
**答** 2割の削減に止まっている。有料化を考えないと2割削減は難しい。  
**問** 町内に30のダンベル体操チームができ、盛んだが、他の取り組みは。  
**答** 仙台大学との連携で

人材づくり、体制づくり、町民の意識変革の取り組みをとおし健康づくりに取り組んでいる。  
**問** 子ども議会は開催しないのか。  
**答** 今年度、小学生を対象に子ども議会の開催を予定している。  
**問** 町長の対抗馬となる人が、マニフェストをつくる時の財源の情報は。  
**答** 財源が分かる「よくわかる町の仕事と予算」で情報提供している。



太田研光 議員

**Q** 終戦記念日に当たり、語り継ぐべきことは

**A** 民主主義を根付かせ、過ちを繰り返さない



船岡城址公園に立つ平和塔

**問** 今年も8月15日がやってきて、終戦後63年目に当たる。中央では政府主催の全国戦没者追悼式が行われた。追悼式の黙祷の間、自分の家族や両親のため尊い命を捧げた人たちに私たちは本当にこたえているのかと、問いかけられているような気持ちでした。

私たちは歴史に学ぶということから大きく離れているのではと思つた。

町長は、終戦記念に当たって語り継ぐべきこと

は何だと考えるか。

**答** 私たちは、今日の平和と繁栄が戦争によつてかけがえのない命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、ひとときも忘れるものではない。

**問** 語り継ぐべきことは、草の根民主主義が大切だということだ。草の根民主主義を根付かせない限り、再び同じ過ちが繰り返されるのではないかと懸念する。

教育長は郷土愛の教

育についてどう考えているのか。

**答** 学校教育法が改正され、義務教育の目標の一つとして伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことが規定された。郷土を愛する心は学校で学んで身につけることも大切だが、何よりも子ども達が地域のよさを感じることが大切と考える。



杉本五郎 議員

**Q** つくる会の素案は議会を形骸化するのはないか

**A** 住民参加のまちづくりを活性化させるもの



報告書を手渡す秋本会長

**問** 町長はこれまで、住民自治基本条例をつくる会の作業は、条例をつくるのが目的ではなく、その過程を楽しむもの、と言っていたが、今回その素案ができ、目的は果たされたのではないか。

**答** つくる会の人たちは、住み良い町をつくりたいとの思いで条例素案づくりをしてきたもので、その努力が実を結ぶことを強く望んでいる。

**問** この条例素案をみると、法律によつて本来議

会の権能とされている「まちの基本構想の決定や、それを監視する」機能を、議会とは別に住民組織が行うとして、議会の審議権を侵し、形骸化をねらい、議会不要論を旨指しているようだ。

**答** この素案に流れている基本的な考えは、住民参加と協働によるまちづくりを全面的に展開しようとするもので、間接民主主義を否定するものではなく、活性化するものと考える。

**問** つくる会の人達の熱い思いは伝わってくる。しかしだからといって、本来の議会の権能が侵されるおそれのあるものを見過ごすことはできない。そこで、住民の思いも生かし、議会側の懸念をも払拭するため、条例にこだわらず、議会に検討を要請する気はないか。

**答** 条例づくりを条件にせず、議会に検討を要請する。



広沢 真 議員

**Q** 大規模災害時  
ライフライン復旧  
と救援は

**A** 自治体、業者と提携、  
救援と復旧に努める



震度7にも耐える貯水タンク

**問** 予想される宮城県沖地震での町内の被害予測は。

**答** 家屋は全壊16棟、半壊168棟。夕方の発生なら人的被害は、死者0人、負傷者21人、短期避難者394人と予測している。

**問** 水道、公共下水道への被害は。

**答** 水道は3千500戸の断水と水道管136カ所、下水道は38カ所の破損と予測。復旧にかかる費用は配水管復旧に6千800万円、下水道に7千600万円かかる。

**問** と予測している。

**答** 被害を減らす対策は、水道は古くなった水道管から耐震性のある管に順次交換している。

**問** 公共下水道は。

**答** 阪神淡路大震災と新潟中越地震の教訓を経て、工事方法が大きく見直され、町の工事でも生かされている。しかし、古い部分は今後早急に対応する必要がある。

**問** 災害時の給水など他自治体や民間からの支援体制は。

**答** 日本水道協会を通じて支援要請をし、他自治体と民間業者の支援を広く受けることができる。

**問** 家屋被害掌握のための建築関係者の支援体制は。

**答** 町建設工事協議会と応援協定を結んでいる。また、宮城県全域と全国の建築士会の支援を受け対応する。



森 淑子 議員

**Q** 保育ママ制度の  
実施を

**A** 事業実施に向け推進する



子育て支援センターで遊ぶ親子

**問** 3歳未満の待機児童は何人いるか。

**答** 9月1日現在ゼロ歳が4人、1歳が1人、2歳が3人で合計8人いる。

**問** 今後の保育需要の推計はどうか。

**答** 児童数は減少するが、全国的に保育需要は低年齢化しており、3歳未満児の待機児童は増える傾向にあると予測する。

**問** 保育ママ制度を実施できないか。

**答** 待機児童ゼロに向け、国が重点的に取り組むこと

とした保育ママ制度は、町としても大変有効な手段と認識している。県に事業実施の要綱制定を強く働きかけていく。

**問** いつ頃どういう形でやるのか。

**答** 児童福祉法の改正に伴い、その内容に適合できることを調査してから計画をたてる。また、住民が求めているニーズを把握分析し、町単独での導入も視野に入れて推進する。

**問** 個人が家庭で保育マ

マとして預かる場合と、町が保育ママを募集して取り組むシステムがあるが、方向性は出ているか。

**答** 現在、財政再建で職員定数の適性化を進めており、民間の協力による方向で考えている。利用者の声も聞いて進める。

**問** 県が自治体に対して制度についての意向調査をしていると聞いたが。

**答** 「21年度の実施予定を検討中」と回答した。



大坂三男 議員

**Q** 合併協議には正しい情報提供が不可欠

**A** 出前講座や勉強会で住民に説明する



9月30日に開催された第1回3町合併協議会

**答** 最近、3町合併問題についてチラシや県の資料が住民に提供されている。一般の住民の関心も高まり問い合わせも多いが、住民が知りたいのは正しい情報である。私は誤りやウソの話も多いと思うが、合併に関する情報について事実関係を確認しなく伺う。

**問** 合併で3役や議員のほか管理職や職員も減り、人件費が削減されるといわれているが事実か。

**答** 総合支所や部の新設

**問** 職の数は総体では減らない。職員の数や人件費は定員適正化計画のもと、合併に関係なくすべての自治体で減っていく。市になれば議員の1人当たりの報酬等は多くなり、職員給与も高いほうに合わせ、試算すると人件費は1億円増となる。

**答** 合併後5年間は旧町

**問** 町長は、初出馬当初は財政問題とまちづくりで3町合併が必要との立場だったが、合併にメリットなしと考えるか。

**答** 町の境界で生じる問題の解消、首長、議員などの特別職の人件費削減や福祉事務所ができることがメリットだ。

**問** 合併の同一請求提出時に、代表者と会見しなかったり、協議会事務所開設に欠席したのは度量が小さいのでは。

**答** 度量があるかどうか

**問** 町民が判断する。はスタート時点で協議会に1人しか職員を出さなかったのはなぜか。

**答** 人事の都合で10月に出すお願いをしていた。

**問** 町長選挙時「新しい合併で目指そう地方都市日本一」と掲げたが、町長の政策ではないのか。

**答** 公選法の関係で滝口後援会の広報委員会が採用したものだ。

**問** 9億円の貯金ができたとするならば、役場庁舎と榎木事務所の耐震診断

**答** をすぐにすべきでないか。

**問** 20年度は町民が多く利用する施設や子どもたちの施設を優先し、その後、に庁舎を行うなど2年間の計画で実施する。

**問** 町にとって必要な事業を入れた財政推計を出せないか。

**答** (仮称)仙南クリーンセンター建設などに多額の負担が予想され、町の大きな事業は26年度以降になる。中身については、来年3月に明らかにする。

**Q** 「合併」から「自立」へなぜ変わったのか



佐藤輝雄 議員

**A** 財政再建が進み合併の必要性がなくなった



耐震診断が待たれる柴田町役場庁舎



小丸 淳 議員

**Q** ALTの配置は現状でいいのか

**A** 今後、増員していく方向で考えている



船岡中学校で授業するALT ナイジェルさん

国際化時代を迎え、外国人とのコミュニケーション力の重要性が認識されるようになった。子どもの頃から、その能力を身につけさせるため、町内でもALT（外国人英語指導助手）による英語指導を取り入れている。

**問** ALTの配置で期待される習得基準や到達基準が設けられているか。  
**答** 国の「語学指導を行う外国青年招致事業実施要綱」に基づき実施して

いるが基準等は設定されていない。昨年度実績では、中学校に163日間、小学校に36日間、第一幼稚園等に5日間、合計204日間派遣している。小中学校それぞれ学習内容に応じた指導でそれなりの成果を上げている。

**問** ALTからはコミュニケーション力は何も勿論であるが、国際理解、欧米人の陽気な性格等を学習する効果は大きい。それには、ALTと頻繁に接する環境にあることが望

ましい。仙台市では各中学校にALTが配置されていると聞いている。現状では少な過ぎないか。  
**答** 21年度から小学校でも5、6年生を対象に英語教育が実施されることになると思うので教育委員会としても予算編成の段階で考えていく。

町長としてもALTを増やしていく方向で受けとめさせていただく。

**問** 「合併は究極の行財政改革」と言われているが、それは国にとつてであり、市町村においては財政規模が小さくなり、住民サービスの縮小につながるのではないか。  
**答** 合併は、きめ細かな行政サービスができなくなるマイナス面がある。柴田町は合併以上の行財政改革を実施し、財政健全化への目的が立った。今さら3町合併することで、再び町民に痛みを強いるわけにはいかない。

**問** 県の資料に「合併により中核病院の管理者が一人になり、経営の合理化が期待できる」とあるが、合併と中核病院の健全化は関係ないのでは。  
**答** 現在も管理者は一人であり、管理者が一人になるという表現は誤り。合併しても経営問題、医師の確保などの課題は解消されない。合併と中核病院の健全化は全く異なった時点での話である。

**問** 「協議会設置の署名をしたが、合併には反対だ」という住民も多い。早急に柴田町独自で合併の是非を問う住民意向調査を実施してはどうか。  
**答** 住民の意向確認については3町長で住民投票を行うことを合意している。住民投票は、合併後の将来ビジョン、合併後のメリット・デメリット、合併した自治体の検証と住民満足度調査の実施、協定項目など、住民に十分理解をいただいた上で行う。

**Q** 早急に合併の是非を問う住民意向調査を



白内恵美子 議員

**A** 合併協議会で協議後に住民投票を行う



合併協議会は誰でも傍聴できます





有賀光子 議員

**Q 「もったいない運動」の現状は**

**A 努力の結果ごみの総量が2%減少した**



ごみ減量に協力を

**問** 「もったいない運動 町民会議」を19年5月からスタートし、ごみ1割削減を掲げたが、現状はどこまで進んでいるのか。  
**答** 19年度のごみ総量は、18年度からマイナス260トンの2割減になっている。運動は昨年11月1日から12月16日までの1カ月半の期限で、町商工会・町内66店舗の協力を得て展開した。今年度はキャンペーン期間を延長して実施し、レジ袋削減とマイバック持参の定着を推進

する。

**問** 可燃ごみの内訳はどのようになっているのか。

**答** 生ごみ関係約30割、紙・布類が約20割、ラップ類11割、その他は39割

となっており、生ごみが断然多い。生ごみを出さないようにしていけばもっと削減できると考えている。

**問** もったいない運動の委員から活動が効率的でなかったと聞いたが。

**答** 会の運営が3つの部に

効率的に活動ができなかった。この反省をもとに委員主体の運営に変えていきたいと考えている。

**問** ごみ袋の有料化は進んでいるのか。

**答** 仙南地域広域行政事務組合と構成市町の2市7町において、ごみの有料化を検討している。

その時、ごみ袋も統一して広域全体で足並みをそろえてやるという考え方でいる。



水戸義裕 議員

**Q 仙南地方初の食育推進計画は**

**A 健康的な食生活の実践を支援する**



食育って大切ね

健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを目的とした「食育基本法」が17年7月に施行された。翌年3月の推進基本計画では「知育・徳育・体育の基礎として食育を位置づけ」ている。その後本町でも食育推進計画ができたので、内容の詳細について伺う。

**問** 計画と実践をどのように周知していくか。

**答** 23年度までの4年間で乳幼児期から高齢期までの6つのライフステージ

に区分し、健康的な食生活支援を実践していく。また、町広報紙及びホームページで周知していく。

**問** 食育推進には地産地消が欠かせないが、町内産の米や野菜をもっと学校給食に使えないか。

**答** 国内食料自給率と同じで町でも野菜などの自給率が低く、地産地消の目標は出しにくいのが実態だ。米飯給食は業者が購入し、炊いたものを学校に納入している。給食センターに炊飯設備がな

く地場産米使用は難しい。大人に対しての食育の考え方は。

**答** 食生活改善推進委員の方たちが自主的に定例の研究会を開催し、調理技術の向上の取り組みをもとに、地域で食に関する講習会を行っている。今後も町民に対する普及啓発に努める。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 我妻弘国 議員

問 住民基本台帳カードの役目は身分証明書用だけなのか。向こう 10 年の活用構想を伺う。

答 多目的利用は可能だが多額の初期投資と維持管理費が必要。国の動向を見ながら検討する。

### 広沢 真 議員

問 3 町合併協議会で合併した自治体を検証し、決定には 4 分の 3 の同意で決めるべきでは。

答 検証は当然。協議会の決定は全会一致が原則。意見が分かれても 4 分の 3 の合意が重要だ。

### 森 淑子 議員

問 審議会・委員会等の女性登用率を上げるためにクォータ制を導入してはどうか。

答 当面は、委員の比率が偏らないよう、男女が個人として能力を発揮する機会の拡大を図る。

問 村田町では学校が再編されるが、3 町合併した場合、柴田町の学校はこのまま残せるのか。

答 合併協議での議論の対象となる可能性は否定できないと考える。

### 大坂三男 議員

問 職員の給与カットが 2 年間続いている。21 年度からの廃止を提案する。

答 財政再建のめどが立ち、職員の協力に報いるためにも来年度から通常に戻す事を決断する。

問 企業立地活動や産業振興策に一層の取り組みが必要。本町における現状と町の役割は。

答 これから複数の企業の新設増設工事が始まる。事務処理支援や周辺道路の整備等で協力する。



船岡工場団地内に新築中の工場

### 小丸 淳 議員

問 後期高齢者医療制度の円滑な運営のため、今後どのような広報相談態勢を考えているか。

答 従来の広報紙や簡潔でわかり易いチラシに加え、出前講座の積極的な活用で充実を図る。

### 白内恵美子 議員

問 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」を町ではどのように考えるか。

答 仕事と生活の調和の実現は官民一体の取り組みが重要であり、町は啓蒙活動に取り組む。

問 次世代育成支援行動計画は、国の押し付けではなく、柴田町にとっての必要性の追求を。

答 関係各課職員で検討部会を設置し、内容精査を行いながら後期計画の策定を進めていく。

### 有賀光子 議員

問 地震災害対策の取り組みとして、避難所の応急物資の備蓄現状は。

答 毛布やマット 200 枚を備蓄し、その他はレンタル会社からリースを考えている。

### 水戸義裕 議員

問 合併推進のチラシで、人件費削減、町有地の売却で急場をしのぎ、将来不透明とあるが。

答 財政立て直しは節約、遊休資産の売却などは常道。財政の将来に不安、不透明感はない。

問 槻木と船岡の中学校に設置するとした緊急地震速報システムの計画は怎么样了。

答 10 月から稼働の予定で、効果的に活用するためシステムを使った避難訓練を実施予定。



船岡中学校に設置した緊急地震速報システム

# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
年4回各課の仕事  
を調査しています。

## 総務

■日時 平成20年7月3日～4日  
■調査内容

- ・集会所の現地調査
- ・町有地の現地調査
- ・住民との協働のまちづくりの調査

### 老朽化した集会所の 早期対応を

#### 《企画財政課》

(1) 第27区集会所と第18A区集会所は老朽化が激しく、雨漏りや地盤沈下による建物の傾斜もあり、危険な状態であるため早急な対応が必要である。

特に第27行政区は、人口や世帯数も少なく、ますます進む少子高齢化や維持管理等の諸問題について区民と十分協議し、将来を見ずえた対応を図ること。

(2) 旧船岡保育所跡地や地域福祉センター隣地等の未利用地をPRして売却に努める必要があるが、公募に向かない土地は、隣接する土地の所有者に売却を積極的に働きかけ、有効活用を図ること。

#### 《まちづくり推進課》

(仮) 柴田町住民自治によるまちづくり基本条例」の素案が町長に報告されたら、早急に条例原案を策定し、早く議会に提案すること。

## 文教厚生

■日時 平成20年7月16日～17日  
■調査内容

- ・もみのき園の管理運営状況
- ・地域福祉センターの管理運営状況
- ・小中学校の耐震診断結果

### 槻木・船岡中学校の 建て替えの検討を早急に

#### 《教育総務課》

本町において、槻木中学校や船岡中学校の建設年度が、昭和39年、昭和43年と古く、耐震診断結果においてS値がそれぞれ0.41、0.52と低い値を示していることから、早急な対応が必要であるが、大規模改修した場合の経費や、維持管理等を考慮すれば、建てかえる方向で検討すること。

#### 《健康福祉課》

もみのき園の作業訓練は、18年度に施行した障害者自立支援法に伴い、当該施設への補助金が廃止されることから、運営形態を継続するか、あるいは地域活動支援センターとの一体的な運営を目指すのか検討中とのことであるが、通所者及び家族へ不安をあたえないように、十分な説明や配慮をすること。

## 産業建設

■日時 平成20年7月22日～23日  
■調査内容

- ・農地・水・環境保全向上対策の調査
- ・新四日市場排水機場の現地調査
- ・鬼石沢地区排水路工事の現地調査

### 農地・水・環境保全事業の 町民へのPRを

#### 《地域産業振興課》

(1) 19年度に実施された農地・水・環境保全向上対策は、4地区が実施している。

今後、花の植栽、花壇整備等を行った場所に活動団体や事業名等を表した立て札を立てて通行人に広報することも一案と考えられるので検討すること。

(2) 新四日市場排水機場は、19年度には導水路及び遊水池が完成し、20年度は一部ポンプの稼働が可能な状態になっている。

湛水被害の防止は、地域住民の長年の悲願であり、当該施設の完成には大きな期待が寄せられている。

大雨時に機能を十分に発揮させるには、雨水を導水路や遊水池に集水させる必要があることから、水路の管理に留意すること。

(3) 四日市場鬼石沢地区排水路工事は、大雨時に起こる土砂等の流出を防止し、地域住民の不安解消を図るため、スケジュールに従い計画どおりに実施すること。

# あなたの一言



上野美穂さん  
(船岡西在住)

未来へ向けて

●柴田町に住んで良かった点は。

空気がきれいで、散歩するのが気持ちいいです。また、住民の方も気さくに声をかけて下さるので、とても過ごしやすいですね。町の人々が温厚で親切です。

●柴田町で好きな風景・場所は。

去年まで白石川の土手の近くに住んでいたのですが、お花見シーズンに、一目千本桜を見渡せることです。

●町に何を望みますか。

若い世代(特に中高大学生)を

巻き込んだイベント等を多く企画していただきたいと思っています。

実際に町のイベントに参加したいと思っても、きっかけがないとなかなか難しいと思います。

●議会だよりを読んでいますか。

隅々までとはいきませんが、気になったところは見えています。

●議会、議員に望むことは。

普段から、世代を問わずあいさつや会話が当たり前に交わせるような町づくりを、これからも頑張っていたきたいと思っています。

## いっしょに勉強しませんか

— 公開議員研修会 —

日時 11月15日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 柴田町役場保健センター 4階会議室

対象 どなたでも参加できます。

テーマ 「自治体病院政策の動向と自治体・住民の対応」

講師 東北大学大学院経済学研究科教授  
医学博士 日野秀逸先生

## 編集後記

菊薫る晩秋、皆様いかがお過ごしですか。今回は、19年度の決算審査特別委員会の内容を中心に、皆様方に少しでもわかりやすく、読みやすいようにまとめてみました。

一般質問では、11人の議員が災害関係、3町合併問題からご質問まで広く執行部に問いました。

また、「追跡あれはどうなった」の記事や財政再建プランの進捗状況など、皆様が関心をお持ちの事柄を、紙面の許す範囲で掲載いたしました。

機会があれば、一度議場に足をお運びになり、直接臨場感を味わっていただければと思います。

これからは一段と寒さが身にしみる季節になります。くれぐれもご自愛ください。

広報委員 百々 喜明

## ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第4回定例会は

12月5日(金) 午前10時開催予定

一般質問は

12月8日(月)・9日(火)・10日(水)の予定

## お詫びと訂正

8月15日号しばた議会だよりの2ページ「えっ!国保税が変わるの?」中、国民健康保険税の税率表に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤) 限度額の合計 平成19年度 640,000円

正) 限度額の合計 平成19年度 650,000円

問: 議会事務局 電話 55-2136